

協働評価シート

事業名		市民主導の新居浜市認知症高齢者SOSネットワークづくり		実施年度	平成22年度
部局		福祉部	課所	地域包括支援センター	
団体等の名称		新居浜医療生活協同組合			
評価項目		評価者	評価	左の評価の説明	
相互理解	それぞれの特 性や立場を 十分に認 識、尊重し て、事業を 実施するこ とができた かどうかを 評価。	団体等	A	地域包括支援センターの職員さんの参加もあり、理解があったと思う。	
		市	A	団体の特性を尊重できた。	
		相互協議 結果		お互いの特性や立ち場を尊重し、事業を実施することができた。	
対等	双方が対 等の立場 に立って いたか	団体等	A	自由に発言させていただいたので、対等であったと思う。	
		市	A		
		相互協議 結果		対等な立場で協議し、事業実施ができた。	
自主	市民の自 動的な活 動が尊重 されたか	団体等	A	自由に活動させていただいたので、関わった人たちが楽しんで行えた。	
		市	A	自主的な活動を見守った。	
		相互協議 結果		自主的な活動は、尊重された。	
自立	市民の自 立化を阻 害しな かったか	団体等	A	自立して行えた。	
		市	A		
		相互協議 結果		自発的な事業展開が見られ、より効果的な成果が得られた。	
目的共有	双方が協 働の目的 を共有し て事業実 施ができた かどうかを 評価。	団体等	A	事前に話し合いの機会をもったので、共有できたと思う。	
		市	A		
		相互協議 結果		十分な協議のうえ、事業が実施され、目的を共有することができた。	

情報共有	双方がお互いの情報を共有できたか	情報を十分に共有しながら事業実施ができたかどうかを評価。	団体等	A	密な電話連絡等で情報共有ができた。
			市	A	
			相互協議結果	協議等を十分行い、情報の共有が図られた。	
公開	双方の関係を十分に公開できたか	全て公開され、利便性も高いかどうかを評価。	団体等	A	開催場所の公民館等の協力が得られよい結果となった。
			市	A	十分な公開ができた。
			相互協議結果	団体のホームページに掲載したり、組合員にたよりを配布し、また市のホームページでも公開された。	
「相乗効果」が発揮され、独自で行うよりも効果的と認められるか		「相乗効果」が十分に発揮され、協働が効果的と認められるかどうかを評価。	団体等	A	市との協働という取り組みのため、市民が安心して参加できたと思う。
			市	A	市が実施するより、柔軟でより市民に近い感覚で実施できた。
			相互協議結果	お互いの特性が生かした事業となった。	
市民の関心を引き出す事業展開がされたのか、		十分に市民の関心や参画意欲を引き出す事業展開がされたかどうかを評価。	団体等	A	劇団員の関係者が、関心を持ちこの活動事態がより広がった。
			市	A	
			相互協議結果	団体手作りの劇や実際の訓練等、市民の関心が高く、また参加型の事業が展開できた。	

事業の目的、目標が達成されたか、どのような成果があったか等（自由記述）

団体等	微力ではあるが、認知症に対する意識改革や認知症介護の質の向上ができたと思う。また、徘徊模擬訓練に参加したことにより、地域の皆さんが、ひとつと捉えないという気づきがあった。自ら参加して地域づくりを行うことを考えるきっかけになったと思う。
市	この事業の実施により、認知症に対する理解をよりわかりやすく、深めることができたと思う。また、実際の模擬訓練は、参加者にとって、貴重な体験だったと思う。また、ステッカーの配布もおこなったが、地域での見守り体制づくりの一歩で、今後は、地域関係者との継続的な取り組みが必要である。
相互協議結果	市と団体の特性が生かされ、また、参加者のアンケートからも、理解度や満足度が高い事業が実施できたと実感した。継続的な取り組みが今後も必要であるので、他市の先進的なモデル事業を参考に取組んでいきたい。